

# ベコちゃん教室では、このように教えています！

## 「道路を歩こう」

- ・ 家の門や保育所（幼稚園）の門を出る時は、必ず一度止まり、車やバイク・自転車が走ってこないか、左右を確認する習慣をつけましょう。
- ・ 車道や歩道など、道路の歩く場所をくわしく教えましょう。  
（右側通行、白線、歩道）
- ・ 歩道のある道路は、歩道の中を歩きましょう。
- ・ 歩道のない道路は、右側の端を歩きましょう。
- ・ 止まる場所、待つ場所、危険な場所を具体的に少しずつ教えてあげましょう。  
（なぜここで止まるのか、どこが危険なのか、なぜここで待つのか）
- ・ 路上駐車中の車の脇を歩く時は、駐車中の車がいつ動き出すかわかりません。車に運転手が乗っていないか、車のエンジンがかかっていないかを確認し、車の前後から車の脇に出る前（車道に出る前）に、道路を走ってくる車がないか、確認してから、歩きだしましょう。走ってくる車には、子供の姿は車に隠れてしまい見えません。



## 「道路を渡ろう」

- ・ 道路を渡る時は、横断歩道を渡りましょう。
- ・ 横断歩道がない時は、見通しの良い場所、渡りやすい場所を渡りましょう。渡る前にゴールを教え、まっすぐに渡るようにしましょう。
- ・ 道路を渡る時は、**合言葉**を言いながら一緒に行動してみましょう。  
（ちょっと止まって、手を上げて、右を見て、左を見て、もう一度右を見て）
- ・ 左右を確認しても、渡る判断は難しいものです。車との距離は、大人の間隔で手を引かず、子供が自分の間隔で渡れるようじっくり見守ってあげましょう。
- ・ 渡り始めると子供は安心してしまい、ゆっくり横断します。渡り終わるまで気を抜かず、早く渡りきるよう教えましょう。



## 「信号機を渡ろう」

- ・ 信号を渡る時は、どの信号を見て渡ればよいか、指差し確認をしてみましょう。
- ・ 信号の色は言わず、子供が自分の目で信号の色を確かめるように声かけをしましょう。（もうすぐ信号が変わるよ見てて、信号は何色？など）
- ・ 信号が青になったら、始めは合言葉を言いながら練習し、慣れてきたら合言葉を言わなくても動作ができるように練習しましょう。渡り始める前に、もう一度信号の色を確かめましょう。青点滅は渡れません。
- ・ 右左折してくる車がないか、車のウインカーのことを教えながら、どの車に注意するのか教えましょう。

飛び出しを防止するため、  
「止まる」・「見る」・「待つ」  
の安全行動を、繰り返し指導しましょう！



- ☆ 「止まる」 道路に出る時、道路を渡る時は、必ず一度止まる。
- ☆ 「見る」 道路の左右を良く見て、走ってくる車がないか確かめる。
- ☆ 「待つ」 車が通り過ぎるか、止まってくれるまで待つ。

子供の目線に立ってみて下さい。身長の違いから、大人が普通に見えるものが、こんなに子供に見えていないものかと実感します。例えば、路上に止まっている車、ブロック塀、垣根、電柱や看板の陰など、ちょっとした所に子供たちは隠れてしまい、車からも子供からも相手を見ることができません。危険な場所や場面を、具体的に教えてあげましょう。

